

令和 4 年 2 月 18 日	通告順序
午前・後 10 時 22 分 受領	6

令和 4 年 2 月 18 日

会津美里町議会議長 横山 知世志 様

会津美里町議会議員 2 番 大竹 惣



一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年定例会 3 月会議において、次のことについて質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

- (注) 1. 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 幼小中教育の連携による人材育成プロジェクトについて	今回、新しい予算編成が行われるにあたって、町長がこれから特に力を入れていきたい政策で「地域とともにある学校づくりと幼小中教育の連携による時代を担う人材育成プロジェクト」が示されました。この会津美里町が教育の先進地域として町内外にアピールできるよい機会だと思い、期待をしているところであります。 この新しい取り組みにおいて、必ず成功させるためにも、いくつか質問をさせていただきます。 ① コミュニティースクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校」への転換を図るとありますが、構成メンバーはどのような基準で選出するのかを伺います。 ② 本郷中学校のプールを撤去することとなっておりますが、その後の中学校水泳の授業はどこで行う考えであるかを伺います。	教育長

- ③ この人材育成プロジェクトの大きな目的の一つである非認知能力の向上。豊かな人生をおくる上で大変重要な能力ではありますが、デジタル化が難しく、結果を証明することが難しいと考えます。

こまめなアンケート調査や、卒業後に社会でどのようにこの新しい教育が役立ったのかを追跡調査をするなど、この非認知能力の向上を示し、保護者や児童生徒の満足度を増加させるためにどのような考えがあるか伺います。

- ④ このプロジェクトの実践のために教職員の授業スキルの検討・実践が行われることとなっておりますが、教職員の過剰労働が問題となっているのが現状です。部活の顧問を外部から入れるなどの、教職員の業務負担軽減を今後どのように進めていく考えであるかを伺います。

2 森林環境対策について

今回の予算編成の中で、もう一つの新しい取り組みである「森林環境対策室」の設置の方針。このことから、里山の荒廃が深刻であるということを重く受けとめておると推察できます。

森林は町の多くの面積を占めている中で、里山を守るためには、より持続可能な政策が必要であると存じます。そこで質問いたします。

- ① 集落周辺の里山の保全のためには、定期的な間伐や刈り払いが必要であるが、現在の山仕事は木材の燃料としての需要低減や、金銭的な収入にも繋がらず、山の所有者など林業事業者以外の方々が山仕事をしなくなっております。本町の広大な森林を手入れしていくためには地域住民の参加を促すような政策が必要であると考えますが、森林環境整備の地域住民参加促進のために今後どのような政策を進めていくかを伺います。

- ② 森林環境対策室において、鳥獣被害対策のための専門員を配置することとなっておりますが、この専門員は鳥獣被害対策の専門的な知識がある方を選ぶのか、その選考基準を伺います。

町長

3 田んぼダムの 推進について	③ 現在、伐採をした後に植林をする「更新」の作業が金銭的問題から持続が困難な状況になっております。 今般、SDGs の考えが世界基準となっており、企業の CO2 取引の需要が出てきている中で、この CO2 売買によって資金繰りの問題を解決し、より CO2 の吸収量が高い樹齢での木の更新をすることによって、森林環境保全、温暖化対策に繋がる可能性があると考えますが、この CO2 売買を利用した森林環境対策について推進していく考えがあるかを伺います。 今般、異常気象が相次ぎ、今まで経験したことがないような災害が多発している現状で、田んぼを利用した洪水被害対策「田んぼダム」が注目を浴びております。会津美里町は多くの田園を有しており、近隣市町村の上流域に位置するため、その重要性は大きなものだと考えます。この田んぼダムの推進を図る考えがあるかを伺います。	町長
----------------------------	---	-----------